

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※ 受 理 番 号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-214	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の番号・略称		※教科書の記号・番号		※教科書名
50 大修館		古探 050-901, 050-902		古典探究 古文編 漢文編 改訂版

1. 編修の基本方針

- ・古典を学ぶことをとおして、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- ・古典を学ぶことをとおして、先人のものの見方、感じ方、考え方にふれ、自分の思いや考えを広めたり、深めたりすることができるよう配慮する。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をおして他者や社会に関わろうとする態度を養うことができるよう配慮する。
- ・古典作品のみならず、近代、現代の評論文やエッセイを掲載することで読解の新たな視点を得たり、作品の理解を深めたりすることができるよう配慮する。
- ・教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、上代から現代に至る多様な言語文化の中から適切な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をおして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
【古文編】第1部 1 説話 宇治拾遺物語 十訓抄 今昔物語集 比べ読み 陰陽師 (夢枕獏) 陰陽師 (岡野玲子)	<ul style="list-style-type: none"> ・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知ることからねらいとし、説話教材3作品を収録した。(第1号) ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培うことをねらいとし、関連する教材2作品を収録した。(第1・5号) ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 7-16
2 随筆 (一) 徒然草 比べ読み 玉勝間 方丈記	<ul style="list-style-type: none"> ・古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材3作品を収録した。(第1号) ・個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、多様なものの見方・考え方にふれられるよう、教材化に配慮した。(第2号) ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 17-34
3 物語 (一) 竹取物語 伊勢物語 比べ読み 仁勢物語 大和物語	<ul style="list-style-type: none"> ・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材4作品を収録した。(第1号) ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 35-50
4 随筆 (二) 枕草子	<ul style="list-style-type: none"> ・古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材1作品を収録した。(第1号) ・個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第2号) ・我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づくことをねらいとし、作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。(第4号) ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 51-62
5 物語 (二) 源氏物語 探究 古典を現代の視点で読む	<ul style="list-style-type: none"> ・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材1作品を収録した。(第1号) 	pp. 63-80

現代の私たちが楽しむ『源氏物語』の読書（山崎ナオコーラ）	<ul style="list-style-type: none"> 個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、多様なものの見方・考え方にふれられるよう、教材化に配慮した。（第2号） 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。（第5号） 	
6 日記 土佐日記 更級日記 十六夜日記 参考 あづま下り（伊勢物語） 比べ読み 日記と日本人 参考 航西日記	<ul style="list-style-type: none"> 古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、日記教材3作品を収録した。（第1・5号） 古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培うことをねらいとし、物語1作品、古典に関連する近代以降の文章2作品を収録した。（第1・5号） 	pp. 81-94
7 物語（三） 大鏡 比べ読み 栄花物語 比べ読み 二つの教養	<ul style="list-style-type: none"> 古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、歴史物語教材2作品を収録した。（第1号） 古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培うことをねらいとし、古典に関連する近代以降の文章1作品を収録した。（第1・5号） 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。（第5号） 	pp. 95-118
8 物語（四） 平家物語 探究 『平家物語』の諸本の魅力を明らかにする 平家物語（延慶本） 義経記	<ul style="list-style-type: none"> 古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、軍記物語教材2作品を収録した。（第1号） 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。（第5号） 	pp. 119-134
9 和歌・歌謡・歌論 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 比べ読み 無名抄 視点 幽玄—想像された美 梁塵秘抄 閑吟集 正徹物語 連理秘抄	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、和歌教材3作品、歌謡教材2作品を収録した。（第1号） 古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、中古・中世の評論教材3作品、古典に関連する近代以降の文章を1作品収録した。（第1・5号） 生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことをねらいとし、我が国の四季折々の自然風土を詠んだ作品を収録した。（第4号） 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。（第5号） 	pp. 135-156
【古文編】第Ⅱ部 1 説話 古今著聞集 今昔物語集	<ul style="list-style-type: none"> 古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、説話教材2作品を収録した。（第1号） 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。（第5号） 	pp. 163-170
2 随筆 枕草子	<ul style="list-style-type: none"> 古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材1作品を収録した。（第1号） 個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。（第2号） 我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づくことをねらいとし、作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。（第4号） 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。（第5号） 	pp. 171-184
3 物語（一） 大鏡 参考 不出門	<ul style="list-style-type: none"> 古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、歴史物語教材1作品を収録した。（第1号） 歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。（第3号） 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。（第5号） 	pp. 185-192
4 日記 蜻蛉日記 和泉式部日記	<ul style="list-style-type: none"> 古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、日記教材3作品、中世の評論教材1作品を収録した。（第1・5号） 	pp. 193-208

紫式部日記 比べ読み 無名草子		
5 物語 (二) 源氏物語 探究 『源氏物語』を訳文で楽しむ 源氏物語 (角田光代訳/いしいしんじ訳/谷崎潤一郎訳/アーサー・ウェイリー訳/毬矢まりえ・森山恵訳/林真理子訳/橋本治訳) 参考 八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材1作品を収録した。(第1号) 個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、多様なものの見方・考え方にふれられるよう、教材化に配慮した。(第2号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 209-248
6 物語 (三) 堤中納言物語 とりかへばや物語	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材2作品を収録した。(第1号) 個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、多様なものの見方・考え方にふれられるよう、教材化に配慮した。(第2号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 249-258
7 近世の俳諧 俳句 市中の巻 (歌仙) 笈の小文 三冊子 去来抄	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、近世の俳句作品を収録した。(第1号) 古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、近世の俳諧紀行・評論教材3作品を収録した。(第1・5号) 生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことをねらいとし、我が国の四季折々の自然風土を詠んだ作品を収録した。(第4号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 259-270
8 芸能 風姿花伝 隅田川 参考 あづま下り (伊勢物語) 難波土産 曾根崎心中	<ul style="list-style-type: none"> 古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、能教材1作品、浄瑠璃作品1作品を収録した。(第1号) 古典芸能に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、近世の評論教材2作品、物語教材を1作品を収録した。(第1・5号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 271-284
9 物語 (四) 古事記 西鶴諸国ばなし 雨月物語	<ul style="list-style-type: none"> 古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、物語教材3作品を収録した。(第1号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 285-298
【漢文編】第I部		
1 故事と逸話 知音/画竜点睛/両頭蛇/漱石枕流/ 糟糠之妻/塞翁馬	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代でも使われる言い回しのもととなった故事と逸話を6作品収録した。(第1号) 短文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 7-14
2 史伝—『史記』本紀 項羽と劉邦 鴻門の会 項王の最期 比べ読み 英雄の器	<ul style="list-style-type: none"> 当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材1作品を収録した。(第1号) 古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培うことをねらいとし、『史記』を翻案した近代の物語1作品を収録した。(第1・5号) 歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) 中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 15-36
3 漢詩—近体詩 自然 旅情 情愛	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、唐宋の近体詩17首を収録した。(第1号) 	pp. 37-56

<p>離別 比べ読み 土佐日記 憂愁 自適</p> <p>探究 漢詩創作に挑戦しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 収録した漢詩教材のテーマとして「自然」「旅情」「情愛」「離別」「憂愁」「自適」を掲げ、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことができるよう配慮した。(第4号) 他国の文化を尊重するとともに、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起して理解を深めることをねらいとし、漢詩に言及した平安時代の日記1作品を収録した。(第5号) 漢語の特色を活かして緊密に構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	
<p>4 文章 桃花源記 視点 日本の桜・中国の桃 捕蛇者説 参考 苛政猛於虎也</p>	<ul style="list-style-type: none"> 真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとし、物語1作品、論説文1作品を収録した。(第1号) 古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、近代以降の文章1作品を収録した。(第1・5号) 我が国でも親しまれた陶潜の名作と、達意の名文として知られる柳宗元の文章の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 57-66
<p>5 思想 儒家の思想 参考 性相近也(論語) 道家の思想 法家の思想 墨家の思想</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『孟子』3章、『荀子』2章、『老子』2章、『莊子』1章、『韓非子』2章、『墨子』1章を収録した。(第1・5号) 儒家・道家・法家・墨家の代表的な思想が表れた教材を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) 	pp. 67-80
<p>6 日本の漢詩文 探究 和漢アンソロジーを楽しむ 和漢朗詠集 漢詩 逸話 参考 題不識庵擊機山図</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、日本人による漢詩4首、逸話1作品を収録した。(第5号) 	pp. 81-90
<p>7 小説 定伯売鬼 天台二女 定婚店</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、小説教材3作品を収録した。(第1号) 小説文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 91-102
<p>【漢文編】第Ⅱ部 1 故事と逸話 水魚之交 死諸葛走生仲達</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代でも使われる言い回しのもととなった逸話を2作品収録した。(第1号) 歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) 	pp. 109-114
<p>2 漢詩—古体詩 人生 参考 高祖還帰 社会 視点 悲しき響き 擣衣</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、古体詩8首を収録した。(第1号) 古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、近代以降の文章1作品を収録した。(第1・5号) 漢詩教材のテーマとして「人生」「社会」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) 漢語の特色を活かして構成された韻文を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 115-126
<p>3 史伝—『史記』列伝 廉頗と藺相如 呂不韋 荊軻</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材1作品を収録した。(第1号) 歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) 	pp. 127-140

	<ul style="list-style-type: none"> 中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	
4 文章 漁父辞 春夜宴桃李園序 師説	<ul style="list-style-type: none"> 真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとし、辞1作品、駢儷文1作品、論説文1作品を収録した。(第1号) 達意の名文として知られる韓愈の文章と、漢語の特色を活かして構成された駢儷文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 141-150
5 思想 孔子と門人たち 平和な社会 常識を覆す 視点 知魚楽	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『論語』6章、『老子』3章、『莊子』2章を収録した。(第1・5号) 古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、近代以降の文章1作品を収録した。(第1・5号) 思想教材のテーマとして「師弟」「平和な社会」「常識を覆す」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) 	pp. 151-164
6 長恨歌と日本の文学 長恨歌 比べ読み 源氏物語 比べ読み 更級日記 比べ読み 枕草子 比べ読み 俊頼髄脳	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、長編の漢詩「長恨歌」を収録した。(第1号) 他国の文化を尊重するとともに、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起して理解を深めることをねらいとし、「長恨歌」に言及した平安時代の文学4作品を収録した。(第5号) 	pp. 165-180
7 小説 人虎伝 探究 古典を翻案してみよう 弟子 (中島敦)	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、小説教材1作品を収録した。(第1号) 我が国の文学にも影響を与えた伝奇小説の読解を通じて、古典の現代的意義を知ることができるとし、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 181-194

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 全編を通じて色彩豊かな写真、図版、イラストなどを多用し、古典作品への興味をかき立て、積極的に学習活動に取り組む姿勢を引き出すよう配慮した。
- 古典作品の成立した背景や、受容の歴史、現代との関わりなどについてまとめたコラム「古文の窓」「漢文の窓」を掲載し、教材や作品から広がる言語文化のつながりを意識できるように配慮した。
- 教材に関連して、古典を読解するための基本的な知識や、作品の背景についての知識をまとめたコラム「豆知識」を随所に掲載し、古典の読解がスムーズにできるよう配慮した。
- 古文編・漢文編ともに第Ⅰ部と第Ⅱ部の間に「まぎらわしい語の識別」「重要句法のまとめ」「重要漢字のまとめ」を置き、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりの理解に資するようにした。
- 単元扉には、教材に関連する図版を解説文とともに掲載し、作品や時代背景の理解に資するようにした。
- 読書への関心を高められるよう、付録に「読書案内」を設け、教材の読解や時代背景の理解に資する書籍を紹介した。
- 古文編では巻頭口絵に「古典を探究」を置き、古典の世界や作品についての探究的な学習に資することができるよう配慮した。また、その他に、主要作品の流れや主要人物の関係がわかるような図や写真資料をテーマごとに配置し、生徒が古文の世界を視覚的かつ具体的にイメージすることができるよう配慮した。
- 古文編では、付録に敬語に関する資料や解説を収録するとともに、巻末に用言活用表や助動詞活用表など頻繁に参照する資料を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。
- 漢文編では巻頭口絵に「諸子百家関係図」「詩文関係図」を置き、詩人や思想家の関係や活躍した時代などを把握しやすくなるよう配慮した。また、写真資料などを「漢文の舞台」「漢文の世界」としてまとめ、生徒の興味・関心を喚起することができるよう配慮した。
- 漢文編では、付録に漢文参考年表や重要句法一覧表など頻繁に参照する資料を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。
- 漢文編では、巻末に「漢文と日本文化」を置き、漢文と日本の古典文学や近現代の文学・芸能との関わりについて興味を持ち学習、探究するきっかけとなるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

※ 受 理 番 号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-214	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号		※教科書名	
50 大修館	古探 050-901, 050-902		古典探究 古文編 漢文編 改訂版	

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

- ・古典を学ぶことをとおして、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- ・古典を学ぶことを通して、先人のものの見方、感じ方、考え方にふれ、自分の思いや考えを広めたり、深めたりすることができるよう配慮する。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養うことができるよう配慮する。
- ・古典作品のみならず、現代の評論文やエッセイを掲載することで 読解の新たな視点を得たり、作品の理解を深めたりすることができるよう配慮する。
- ・学習指導要領に示された教育目標への対応に配慮しつつ、上代から現代に至る多様な言語文化の中から適切な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をとおして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

●構成

- ・学習上の便宜に配慮して古文編・漢文編の2分冊とし、それぞれを第Ⅰ部・第Ⅱ部に分けた。
- ・単元構成は、それぞれにテーマと目標を設け、教材のジャンルにも配慮しながら編成した。

●教材選択にあたっての配慮

- ・「古典探究」としての価値や学習上のねらいをふまえつつ、身につけるべき教養として必要な古典作品と、探究的な学習に資する作品をバランスよく配置した。
- ・古典に関連する近代以降の文章を収録し、我が国の伝統的な言語文化への興味関心を喚起し、理解を深められるよう配慮した。

●教材化の工夫

1 古典を読むための基礎が身につく教科書の基本設計

- ・単元扉に「単元の目標」を掲げ、学習内容を明確化できるようにした。また、教材に関連する図版を解説文とともに掲載し、作品や時代背景の理解に資するようにした。
- ・脚注欄では、人名には「人」、地名には「地」、補足的な情報には「補」の記号を示した。また「重要古語」「訓読で注意する文字」「句法」に印を付け、その教材で特に注意したい文法事項を示し、巻末で一覧できるようにした。
- ・教材中の「脚問」をとおして、その教材で身に付けたい基礎的な読解力を養い、その力をもとに、教材全体の理解力を測る「学習のポイント」に取り組む構成とし、着実に学習の定着をはかれるようにした。
- ・「学習のポイント」は、「内容の理解」「考察と発展」「語句と表現」の三つの観点に分けて掲げ、学習の成果をはかりやすいようにした。
- ・古文編・漢文編ともに第Ⅰ部と第Ⅱ部の間に「まぎらわしい語の識別」(古文編)「重要句法のまとめ」「重要漢字のまとめ」(漢文編)を置き、古典を読むために必要な文語のきまりや、訓読のきまりの理解に資するようにした。
- ・古文・漢文を学習する際に役立つ資料として、地図や人物関係図、写真、参考図版などを随所に配置した。

2 主体的に学習に取り組むための工夫

- ・教材に関連した作品や後世の人の考察、翻案作品などを読み比べて取り組む学習課題を示した「比べ読み」を設置し、比較の観点を示す「課題」を設けた。
- ・それぞれの興味・関心に応じたテーマを決めて探究する発展的な学習活動として「探究」を6か所に設置し、関連する別の作品を読んだり、関連するテーマについて調査したりすることで、教材の理解や自分の考えを深められるよう工夫した。

- ・教材中に引用されている作品や関連する資料を「参考」として教材末尾に示し、学習に資するようにした。
- ・教材を鑑賞する手立てとして「視点」を置き、古典作品を多角的にとらえられるよう配慮した。
- ・古典作品の成立した背景や、受容の歴史、現代との関わりなどについてまとめたコラム「古文の窓」「漢文の窓」を掲載し、教材や作品から広がる言語文化のつながりを意識できるように配慮した。
- ・教材に関連して、古典を読解するための基本的な知識や、作品の背景についての情報をまとめたコラム「豆知識」を随所に掲載し、古典の読解がスムーズにできるよう配慮した。
- ・読書への関心を高められるよう、巻末に「読書案内」を設け、教材の読解や時代背景の理解に資する書籍を紹介した。

●付録・図録の充実

- ・古典に関する資料や図版をテーマごとに図録としてまとめ、巻頭・巻末に配置した。その際、生徒が課題について探究しながら古典と現代のつながりの理解をさらに深められるよう配慮した。また、模型や写真を多用し、古典の世界を視覚的かつ具体的に理解できるように配慮した。
- ・主要作品・主要人物の流れや関係を示した図を掲載し、生徒が古典の世界を概観できるように配慮した。
- ・古文編では、付録に「古文参考年表」や「古文文法のまとめ」「重要古語一覧」などの文法事項が確認できる資料を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。
- ・漢文編では、付録に「漢文参考年表」や「重要漢字一覧」「重要句法一覧」などの頻繁に参照する資料を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。

●その他

- ・「この教科書で身につく力」を掲載し、学習者が自ら目標をもって学習に取り組むことができるよう配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容																該当箇所									
	知識及び技能								思考力、判断力、表現力等																	
	A読むこと																									
	(1)				(2)				(1)				(2)													
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ			
古文編 I																										
1 説話	宇治拾遺物語（検非違使忠明のこと）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.8
	十訓抄（大江山いくのの道）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.10
	今昔物語集（安倍晴明）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.12
	〔比べ読み〕 陰陽師	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.14
	〔豆知識1〕 平安時代の生活と陰陽師	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.16
2 随筆（一）	徒然草（家居の…／今日は…／花は盛りに／あだし野の露）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.18
	〔比べ読み〕 玉勝間（兼好法師が…）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.25
	〔豆知識2〕 江戸時代に誕生した国学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.26
	方丈記（行く河の流れ／安元の大火／日野山の閑居）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.28
3 物語（一）	竹取物語（かぐや姫の昇天）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.36
	伊勢物語（初冠／月やあらぬ／渚の院／つひにゆく道）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.40
	〔比べ読み〕 仁勢物語（頼破り）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.41
	大和物語（をばすて）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.48
4 随筆（二）	枕草子（すさまじきもの／木の花は／宮に初めて…／中納言…）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.52
	〔古文の窓①〕 中宮定子と清少納言	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.61
	源氏物語（光源氏の誕生／藤壺の入内／若紫…）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.64
5 物語（二）	〔豆知識3〕 人物の呼称	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.71
	〔豆知識4〕 襲の色目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.73
	〔豆知識5〕 『源氏物語』の中の女性論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.76
	〔探究〕 古典を現代の視点で読む 現代の私たちが楽しむ『源氏物語』の読書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.77
	士佐日記（羽根）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.82
	更級日記（門出／源氏の五十余巻）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.84
6 日記	十六夜日記（駿河路）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.88
	〔参考〕 伊勢物語（第九段）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.90
	〔比べ読み〕 日記と日本人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.91
	〔豆知識6〕 近代以前の教科書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.93
	〔参考〕 航西日記	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.94
	大鏡（雲林院の菩提講／肝だめし／花山院の出家／鏡へ弓／三船の才）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.96
7 物語（三）	〔比べ読み〕 栄花物語（花山院の出家）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.107
	〔豆知識7〕 三島由紀夫の二つの「花山院」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.109
	〔比べ読み〕 二つの教養	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.114
	〔豆知識8〕 貴族社会の生活	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.115
	〔古文の窓②〕 藤原道長の栄華	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.118
8 物語（四）	平家物語（忠度都落ち／能登殿最期）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.120
	〔探究〕 『平家物語』の諸本の魅力を明らかにする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.124
	義経記（静の白拍子）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.131
	〔古文の窓③〕 源平の女性たち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.134
	万葉集	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.136
9 和歌・歌謡・歌論	古今和歌集（仮名序—やまと歌・六歌仙の歌／撰者の歌）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.141
	新古今和歌集	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.146
	〔比べ読み〕 無名抄（おもて歌）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.148
	〔視点〕 幽玄—想像された美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.150
	梁塵秘抄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.152
	閑吟集	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.153
	正徹物語（峇冠の折句）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.154
	連理秘抄（連歌は心より起こりて）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.155
古文編 II																										
1 説話	古今著聞集（源義家、衣川にて…）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.164
	今昔物語集（地藏菩薩小僧の形に変わって箭を受くこと）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.166
	〔古文の窓④〕 説話の生きる場所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.170
2 随筆	枕草子（うれしきもの／虫は／二月つごもり…／五月ばかりなどに…／頭の弁の、…／この草子、…）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.172
	〔豆知識9〕 書物の形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.182
3 物語（一）	大鏡（道真左遷／鶯宿梅）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.186
	〔参考〕 不出門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.190
4 日記	蜻蛉日記（町の小路の女／鷹）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.194
	〔豆知識10〕 兼家と道綱母	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.196
	和泉式部日記（薫る香に）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.198
	紫式部日記（土御門邸の秋／和泉式部と清少納言）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.201
	〔比べ読み〕 無名草子（清少納言のこと／紫式部のこと）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.205
5 物語（二）	源氏物語（車争い／装の上と…／須磨の…／母子の…／女三宮…／紫の上…／薫と…／橘の…）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.210
	〔探究〕 『源氏物語』を訳文で楽しむ（角田光代訳・いしいしんじ訳／谷崎潤一郎訳／A・ウェイリー訳／穂矢まりえ・森山恵訳／林真理子訳／橋本治訳）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.214
	〔豆知識11〕 出産のしつらい	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.220
	〔豆知識12〕 須磨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.226
	〔参考〕 八月十五日夜、禁中独直、対月億元九	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○														

図書の構成・内容	学習指導要領の内容																該当箇所					
	知識及び技能								思考力、判断力、表現力等													
	(1)				(2)				(1)				(2)									
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク		ア	イ	ウ	エ	オ
	[古文の窓⑤]『源氏物語』最後のヒロイン・浮舟																p.248					
6 物語(三)	堤中納言物語(このついで/虫めづる姫君)																p.250					
	[豆知識15]平安時代の化粧																p.253					
	とりかへばや物語																p.256					
7 近世の俳諧	俳句																p.260					
	市中の巻(歌仙)																p.262					
	[古文の窓⑥]連句について																p.264					
	笈の小文(造化にしたがひ…)																p.266					
	三冊子(不易と変化)																p.268					
8 芸能	去来抄(行く春を)																p.269					
	風雲花伝(因果の花)																p.272					
	隅田川																p.275					
	[参考]伊勢物語(第九段)																p.279					
	難波土産(虚実皮膜の論)																p.280					
9 物語(四)	曾根崎心中(道行)																p.282					
	古事記(海幸山幸)																p.286					
	西鶴諸国ぼなし(大晦日…)																p.291					
	[豆知識16]太宰版『諸国ぼなし』																p.293					
雨月物語(浅茅が宿)																p.295						
漢文編 I																						
1 故事と逸話	知音																p.8					
	画竜点睛																p.9					
	両頭蛇																p.10					
	漱石枕流																p.11					
	糟糠之妻																p.12					
	塞翁馬																p.13					
	『史記』への招待																p.16					
2 史伝 —『史記』本紀	項羽と劉邦(彼取りて…/大丈夫…)																p.18					
	鴻門の会(沛公…/樊噲…)																p.22					
	項王の最期(四面皆楚歌す/我何の面目ありて…)																p.28					
	[比べ読み]英雄の器																p.33					
	[豆知識1]通俗漢楚軍談																p.35					
	[漢文の窓①]司馬遷の視点—歴史を見つめる眼																p.36					
3 漢詩—近体詩	自然(絶句/竹里館/六月二十七日…/山亭夏日)																p.38					
	旅情(清明/楓橋夜泊/早発白帝城/磧中作/登岳陽楼)																p.40					
	情愛(夜雨寄北/贈別)																p.43					
	離別(勸酒/哭晁卿衡)																p.44					
	[豆知識2]阿倍仲麻呂																p.45					
	[比べ読み]土佐日記(阿倍仲麻呂の歌)																p.46					
	憂愁(秋浦歌/登高)																p.48					
	自適(山中問答/遊山西村)																p.50					
	作者・出典																p.52					
	[漢文の窓②]漢詩の形式と表現																p.54					
[探究]漢詩創作に挑戦しよう																p.56						
4 文章	桃花源記																p.58					
	[視点]日本の桜・中国の桃																p.61					
	捕蛇者説																p.62					
	[参考]苛政猛於虎也																p.66					
5 思想	儒家の思想(不忍人之心/求其放心而已矣/人性之善也、猶水之就下也/人之性悪/背取之於藍、而青於藍)																p.68					
	[参考]性相近也																p.72					
	道家の思想(大道廢、有仁義/無為而無不為/夢為蝴蝶)																p.74					
	[豆知識3]諸子百家																p.75					
	法家の思想(侵官之害/処知則難)																p.77					
6 日本の漢詩文	墨家の思想(兼相愛)																p.80					
	[探究]和漢のアンソロジーを楽しむ 和漢朗詠集																p.82					
	漢詩(冬夜読書/桂林狂雜詠/将東遊題壁/題自画)																p.85					
	逸話(所争在弓箭)																p.87					
	[参考]題不識庵擊機山図																p.88					
7 小説	[漢文の窓③]漢文と日本人																p.89					
	定伯売鬼																p.92					
	天台二女																p.94					
	定婚店																p.97					
漢文編 II																						
1 故事と逸話	水魚之交																p.110					
	死諸葛走生仲達																p.113					
2 漢詩—古体詩	人生(桃夭/行行重行行/大風歌/詠懐詩/飲酒)																p.116					
	[参考]高祖還帰																p.118					
	社会(子夜呉歌/石壕吏/炭炭翁)																p.120					
	[視点]悲しき響き 擣衣																p.121					
	[漢文の窓④]竹林の七賢																p.126					
3 史伝—『史記』 列伝	廉頗と藺相如(刎頸の交はり)																p.128					
	呂不韋(奇貨居くべし)																p.131					
	荊軻(風蕭蕭として易水寒し/図窮まりて匕首見る)																p.134					
	[漢文の窓⑤]日本における『史記』の受容																p.140					
4	漁父辞																p.142					

図書の構成・内容		学習指導要領の内容																該当箇所								
		知識及び技能								思考力、判断力、表現力等																
		A読むこと																								
		(1)				(2)				(1)				(2)												
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ		
文章	春夜宴桃李園序	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							p.144
	師説	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							p.146
	【漢文の窓⑥】文の形式と表現	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							p.150
5 思想	孔子と門人たち（顔回 賢哉回也／克己復礼／顔淵死／子路 暴虎馮河／子路問君子／君子固窮）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							p.152
	【参考】曲肱而枕之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							p.154
	平和な社会（兵者、不祥之器／小国寡民）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							p.158
	常識を覆す（無之以為用／北冥有魚／知魚之樂）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	p.160
	【視点】知魚楽								○								○							○		p.162
	【漢文の窓⑦】『莊子』の宇宙観					○		○						○	○	○	○									p.164
6 長恨歌と日本の文学	長恨歌	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	p.167
	【比べ読み】源氏物語（翼をならべ…）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.174
	【比べ読み】更級日記（七月七日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.175
	【比べ読み】枕草子（梨花一枝）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.176
	【比べ読み】俊賴髄脳（楊貴妃がことを詠める）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			p.177
	【豆知識4】長恨歌	○				○			○	○				○	○	○	○									p.178
	【豆知識5】七夕	○				○				○				○	○	○	○							○		p.179
7 小説	人虎伝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	p.182
	【探究】古典を翻案してみよう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	p.192
	【漢文の窓⑧】中国の小説								○								○									p.194